

経営比較分析表（令和2年度決算）

宮城県 高鍋町

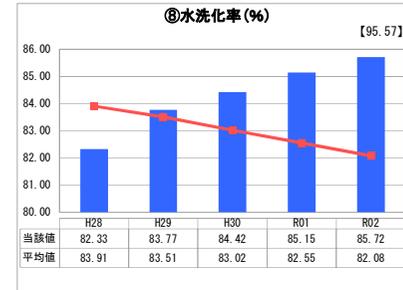
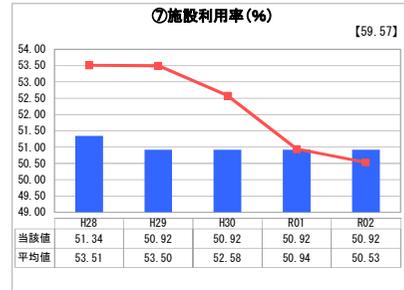
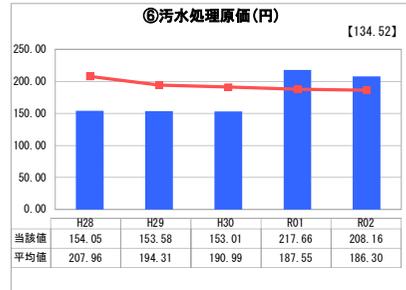
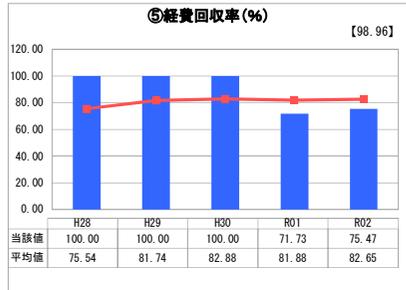
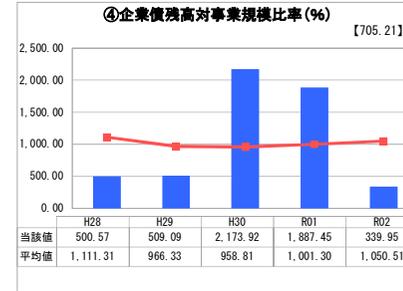
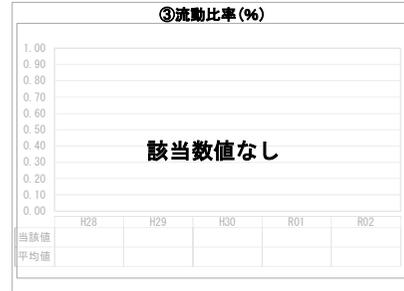
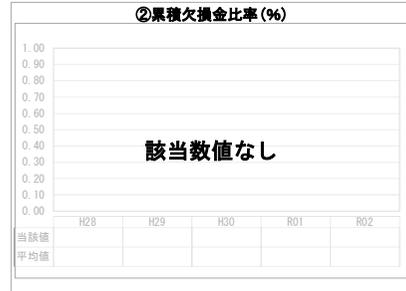
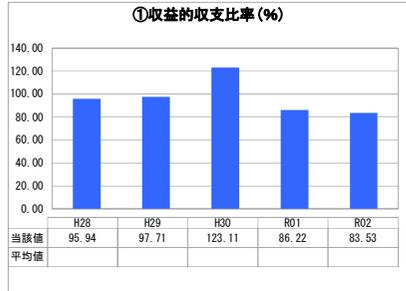
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金 (円)
-	該当数値なし	35.98	96.53	2,552

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
20,141	43.80	459.84
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
7,228	2.26	3,198.23

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

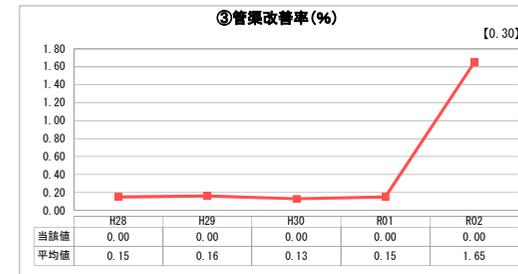
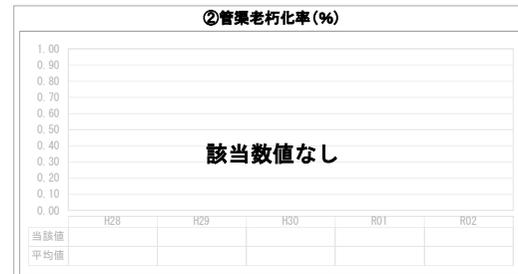
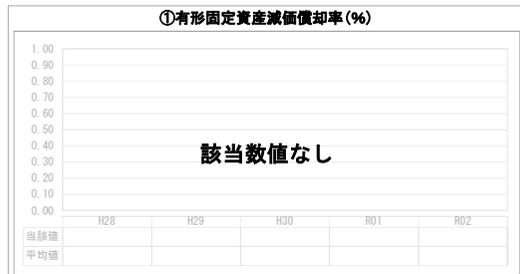
1. 経営の健全性・効率性について

平成28年度から30年度にかけては①収益の収支比率、⑤経費回収率、⑥汚水処理原価について改善がみられたが、高鍋浄化センターの長寿命化工事に伴う国庫補助収入及び大規模企業進出に伴う負担金の収入等、一時的な要因によるところが大きい。その後においては、令和元年度より収益の収支比率は悪化しているが使用料収入が増加しており、経費回収率及び汚水処理原価の数値に改善がみられる。高鍋浄化センターの大規模修繕及び認可区域内の主要管渠敷設をほぼ終えたため起債の償還は順調に進んでいるが、将来の耐用年数到達に伴う管渠更新等に備える必要がある。

2. 老朽化の状況について

一部供用開始から26年が経過したが、将来的に法定耐用年数（50年）に達するため、ストックマネジメント実施方針に基づき、計画的かつ効率的な維持修理及び改築更新を行っていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和5年度より公営企業会計に移行する予定。経営の自由度は増すが、財政状況を的確に把握する重要性も増していく。一時的な要因に経営状況が大きく左右されないよう、平成29年11月策定の「高鍋町下水道事業経営戦略」に基づき下水道への接続率向上、水洗化率の向上及び不排水の対策等を推し進め、さらなる経営基盤の強化を図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。